

4月から給食費0円にする予算

かかるお金の約7割は物価高とう臨時交付金を使う

4月から小中学校の給食費をゼロ円にする予算が、市議会に提案されます。昨年春からとりくんだ給食費無料化の署名活動が、党市議団の公約実現につながりました。

2月27日から始まる定例市議会は、4月から給食費をゼロ円にする予算2億6千万円を含む2024年度の当初予算386億円を議論します。

給食費をゼロ円にする予算にかかるお金は、国の物価高とう支援臨時交付金1億7千5百万円とふるさと納税「水郷ひた応援基金」2千万円を使います。残り6千5百万円は、市のお金を使います。

党市議団は、2025年度以降の給食費をゼロ円にするお金について、市長の説明を求めていきます。

教育福祉委員会は16日、学校給食センターで給食がつけられる状況を視察し、できあがった給食を試食しました(上の写真)。給食センターの業務は、昨年11月から(株)ハーベストネクスト(本社・神奈川県)に委託されています。学校給食課は、アレルギー除去食が出せるよう検討しています。



▲ 給食センターで給食をつくらっているハーベストネクストの従業員 (2月16日)



▲ 教育福祉委員が試食した肉うどんと厚焼き卵 (2月16日)

日田市 学校給食

5号トンネルが無事貫通

1号トンネルの避難坑は湧水が出て難工事

市議会は2月15日、中津日田道路の日田側のトンネル工事の状況を視察(左の写真)。湧水が出て難工事になっている避難坑の中に入り、県の担当者から説明を受けました。

日田市から山国町の区間に5つのトンネルがつけられます。昨年4月、1号トンネルの避難坑を掘りすすんでいるときに大

量の湧水が出て工事が中断。8月に湧水対策をしながら工事が再開されたものの、工事現場近くの伏木町の住民から「井戸の水が減っている」などと連絡が入り、昨年12月から工事が中断しています。

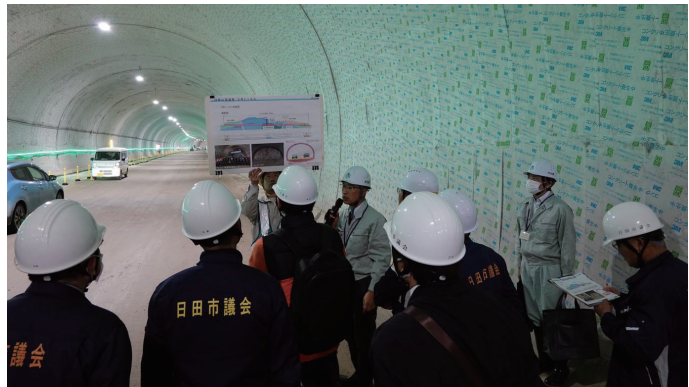
県は、給水車による水の配給や井戸の水をくみ上げるポンプの位置を下げるといった対応を行っています。県の担当者は、「地元の不安を取りのぞけるように、しっかり対応していく」「工事現場の湧水対策など工事のやり方を住民に説明し、トンネル工事を始めたい」と説明しました。

一方、5号トンネルは2月6日に無事貫通。工事現場の担当者は「何の問題もおこらず工事がすすんだ」と話しました。

中津日田 道路視察



▲ 大量の湧水が出て工事がストップしている工事現場の状況を説明する県の担当者 (避難坑の入り口、2月15日)



▲ 県の担当者の説明を5号トンネルの中で聞く市議会議員 (2月15日)